

西部地域包括支援センター 愛全園

センターだより

2016年1月号
平成28年1月1日

発行 昭島市西部
地域包括支援センター愛全園
昭島市田中町2-25-3
☎ 513-7651

ご挨拶

謹啓

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別なご高配を賜り、まことに有難く厚く御礼申し上げます。

2016年がスタートしました。本年も引き続き『地域包括ケアシステム』の構築を念頭に様々な課題に対して取り組んで参ります。先ずは、益々『予防重視型システムへの転換』、『地域支援事業への期待』が更に高まる中、介護予防の推進には、地域包括ケアの拠点である地域包括支援センターが中心的な存在となることが求められています。その様な中で、昭島市西部地域包括支援センターにおきましては、昨年度、田中町団地自治会及び、西部地域5ヶ所のサロンにご協力頂き、昭島市西部地域介護予防マップ（仮称）の作成に取り組みました。このマップの目的と致しましては、西部地域のサロン活動がより活発になること、西部地域のサロンを実施する団体が増えること、マップを利用した介護予防活動が展開できること等です。介護予防事業を進めていくために必要なことは、地域の情報を必要な方々に正確に身近な場所からお届けすることです。今後はこの活動を昭島市全体に広げていければと考えています。

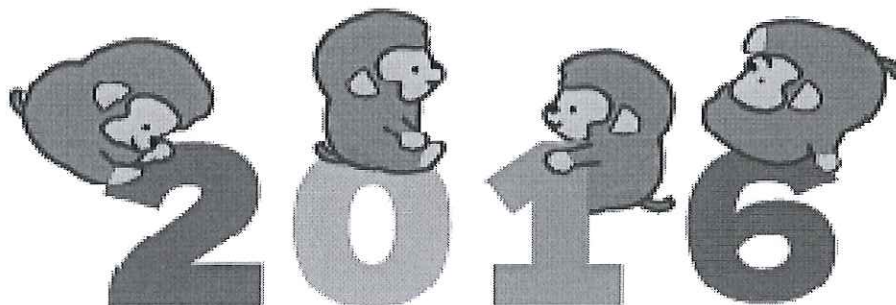
また、総合相談のみならず、緊急ケース、困難ケース、虐待ケースに置かしましては、母体である社会福祉法人同胞互助会の施設サービスの強みである医療、栄養、介護との連携を密にし、迅速な対応を実施していきます。

本年も、より一層のご支援を賜りますよう、従業員一同心よりお願い申し上げます。皆様のご健康とご多幸、益々のご発展をお祈り申し上げます。

敬具

平成28年1月

西部地域包括支援センター 愛全園
所長 丸山 和代



冬の火事を防ぎましょう!!!

【質問】 火災の原因として一番多いストーブは？

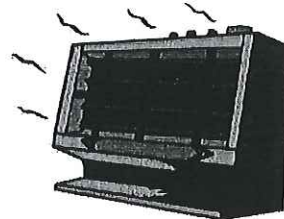
- ① 石油ストーブ ② ガスストーブ ③ 電気ストーブ

都民へのアンケートでは、火災発生の危険性が高いと思う暖房器具は80%の人が「石油ストーブ」と答えています。続いて「ガスストーブ」「電気ストーブ」の順となっています。

しかし、実際に多くの火災の原因となったのは.....

【答え】 電気ストーブです！

平成21年～平成25年の5年間で、ストーブから出火した住宅火災の7割以上が電気ストーブ（カーボンヒーター、ハロゲンヒーター等含む）が原因です。電気ストーブは給油等の手間がかからないことから手軽で安全にみえますが、あやまった使い方をすると危険です。火災を防ぐポイントを再確認し、尊い命を守りましょう。



火災を防ぐポイント（電気ストーブ編）

【電気ストーブの周りに、物を置かない！】

布団、衣類、雑誌などの可燃物をストーブのそばに置かないようにしましょう。また、ストーブの上や近くで洗濯物を乾かさないようにしましょう。



【寝る時、離れる時はスイッチを切る習慣を！】

電気ストーブ火災は、夜明けから明け方にかけて最も多く発生。寝返りなどで布団がストーブに接触するおそれがあります。寝る時はスイッチを切り、使用しない時は電源プラグをコンセントから抜いておきましょう。



【電源プラグや電源コードの清掃・点検を！】

電源プラグにホコリがたまらないようこまめに掃除しましょう。転倒オフスイッチ等の安全装置がついているかを確認しておきましょう。

